

地域創生プロジェクト実践	履修年次	3	
	単位	2	
藤岡 慎二、杉田 一真	配当期	後	
	授業方法	演習/対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>本授業は、前学期「地域創生プランニング」の演習内容(地域課題の整理・分析・見える化)をベースに、企業と地域の関係について学習する。具体的には、地域の特性・課題を踏まえて、企業と地域がともに発展していくビジョンを描き、それに基づいた公民共創*の事業案を構想する演習に取り組む。本授業は、履修者の積極的な授業参加なくして成立しない。グループワーク、クラスワークへの積極的な参加を期待する。授業外(土日祝日含む)に一定の時間を要することを了解した上で履修すること。詳細なスケジュールは第1回授業で提示する。授業外学習の指示・提出はmanabaで行う。情報収集・資料作成のため、毎回の授業にパソコンを持参すること。</p> <p>*公民共創とは、自治体などの「公」と企業・大学・NPOなどの「民」が、各々の持つアイデアや技術、資源などを活用して、社会的な課題や地域の課題に対して新たな価値や解決策を共に見出し、創り上げていくことをいう。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題と企業の技術・資源などを結び付けて考え、公民共創による課題解決の方向性を構想することができる。</li> <li>・価値観の異なるメンバーと協働して、成果をあげることができる。</li> <li>・構想した案を第三者にわかりやすく伝え、共感を得ることができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
<p>授業出席、授業外学習、小テスト、提出課題の結果を総合的に評価する。          授業出席は、出席だけでなく、授業内での発言などクラスへの貢献度を加味して評価する</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス、企業経営と地域	8	中間発表,講評
2	地域課題マップの確認、アイデア創出	9	公民共創事業の再検討
3	事業構想のポイント、留意点の確認	10	公民共創事業案Ⅱの構想
4	個人事業アイデアの共有	11	公民共創事業案Ⅱの発表準備
5	公民共創事業Ⅰの構想に向けた調査	12	最終発表,講評
6	公民共創事業案Ⅰの構想	13	地域創生「対話」
7	公民共創事業案Ⅰの発表準備	14	振り返り,総括